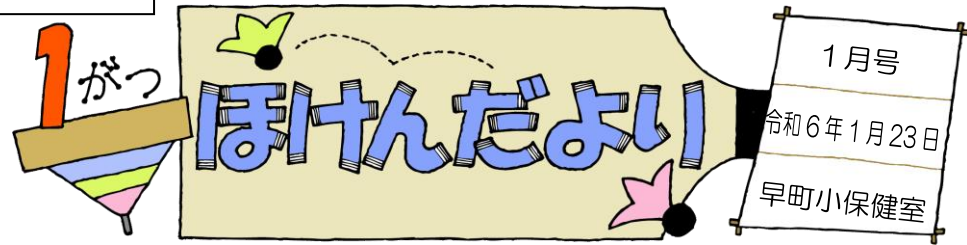


保護者向け

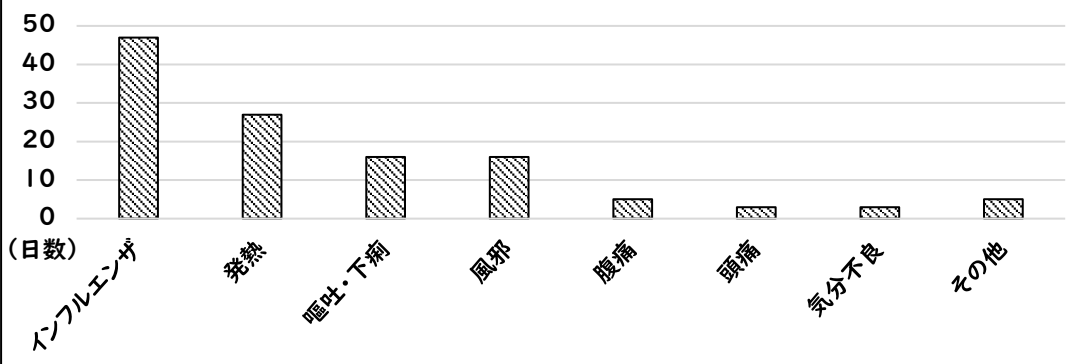


2024年が始まりました。今年もよろしくお願いいたします。新しい1年がお子様にとって、また、保護者の皆様にとって笑顔あふれる年となりますよう、お祈り申し上げます。

朝夕の気温差が大きく、体調を崩しやすい気候が続いています。本年も子どもたちが元気に成長できるような生活リズム作りに御協力よろしくお願いいたします。

感染症に御注意ください

<12月の欠席状況(12/1~12/22)>



12月は町内小中学校でインフルエンザが流行し、本校でもインフルエンザによる欠席が多く見られました。1月に入ってから「インフルエンザB型」の感染が見られましたが、まだ大流行には至っていません。**今後も冬の感染症に注意する必要があります。**

お子さまが感染性胃腸炎になったら



感 染性胃腸炎は、ノロウイルス

などのウイルスや細菌に感染して、

腹痛や下痢、嘔吐、発熱などの症状が出ます。嘔吐や下痢の場合は、こまめな水分補給をして、脱水症状に気をつけてください。

また、嘔吐や便にはウイルスなどが含まれています。家庭内で広げないために、適切な処理と処理後の手洗い・うがいが必要です。

汚物の処理法

- 使い捨てのマスクや手袋を着用します
- 汚れた衣服は100倍に薄めた塩素系漂白剤に5~10分浸し、消毒します。色落ちが気になるものは85℃以上のお湯に2分以上浸します。
- 汚れた場所もしっかり消毒します。



12月の保健室

保健室来室状況(12/1~12/22)

	件数	内容
けが	4件	切り傷2件, 打撲1件, つき指1件
体調不良	9件	頭痛4件, だるさ2件, 腹痛1件, 気分不良1件, その他1件

- 病院受診の必要な大きなけがはありませんでした。
- 11月と比較して来室件数が半分に減少しました。12月上旬にインフルエンザ等の流行の兆しが見られましたが、来室件数は少なかったです。保護者の皆様の毎日の健康管理や細やかな健康観察のおかげです。御協力ありがとうございました。

「くすりって何だろう？」(2年生)



身近な医薬品には使い方の決まりがあり、誤った使い方は体に悪影響を及ぼすことを伝えるために、薬に関する授業を行いました。

実際に薬の箱を見てどのようなことが書いてあるのか調べたり、ジュースで薬を飲むと体でどのようなことが起こるのかを実験したりしました。2年生にとって、少し難しいテーマだと思っ

ていましたが、実験やクイズに積極的に参加して薬の使い方について学んでいました。

<子どもたちの感想>

- 自然治癒力を初めて知りました。必ず薬を飲む前に使い方を見て気を付けます。
- 薬は人にあげたり人からもらったりしないことが分かりました。

歯の治療は進んでいますか？



1月19日現在、まだ歯の治療が終わっていない児童は**15名**います。治療率は**52.2%**です。むし歯の本数が多い人や歯肉の炎症が見られる人も多いです。いったんむし歯になると、どんどん進行していきます。一生使う大切な歯を失わないため

にも、**お早めの治療をお勧めします。**また、受診が終わりましたら、受診報告書の提出をお願いします。

1月11日の家庭教育学級で行った「歯と口の健康に関する講話」の様子です。本校の歯と口に関する現状と課題、歯に良い食事や仕上げみがきについて講話を行いました。多数の御参加ありがとうございました。⇒



お家の人と一緒に読みましょう。

1がつ ぼけんだよい

1月号
令和6年1月23日
早町小保健室



ビニール袋と新聞紙で骨折の応急手当

① 袋の両側を切る。



② 新聞紙を丸める。



③ 新聞紙を使って固定をする。



④ ビニール袋を腕に通し、持ち手を首にかける。



<新聞紙以外にも、傘や雑誌等を使って固定できます。>



包帯の代わりに風呂敷やネクタイ、ストッキング等を使うこともできます。



骨折した部位の上下の関節を含めることができる十分な長さ・強さ・幅を持つものならば、野球のバット、毛布、座布団なども利用できます。

1月1日のおめでたい日に、悲しい出来事がありました。石川県能登地方で震度7の大きな地震があり、建物の倒壊や津波、火事等により多くの人の命が失われました。いつ、どこで同じようなことがあってもおかしくありません。命を守るために日頃から備えておくことが大切です。

そこで、すこやか委員会では、委員会活動の時間に「災害時に身近なものでできる応急手当」について学習しました。お家の人と一緒に確認し、いざという時に備えましょう。



ラップを使ったケガの手当

① ガーゼ等で止血する。傷口を圧迫し、心臓より高いところに挙上する。

手袋やビニール袋を付けて、血液に触れないように注意する。

② 止血後、包帯の代わりにラップを巻いて傷口を保護する。



ラップを身体に巻いて防寒対策をしたり、食器に敷くことで水洗いが不要になったり、様々な面で活用できます。防災バッグ等の中にラップを入れておくと便利です。



キッチンペーパーを使ったマスクの作り方

① キッチンペーパーを蛇腹折りする。



② 端を軽く折り、ホッチキスで輪ゴムを付ける。



大人用は輪ゴムを2つつなげるとちょうど良い長さになります。

③ キッチンペーパーをゆっくり開いて完成!



様々な折り方でマスクを作ることができます。ぜひ御家庭で作ってみてください。

<参考資料>

- ・日本赤十字社「赤十字救急法講習」, H28
- ・トヨタの防災「身近なもので代用しよう-応急手当-」